

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日

上場会社名 株式会社じげん 上場取引所 東
 コード番号 3679 URL http://zigexn.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平尾 丈
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 経営管理部 部長 (氏名) 松浦 晃久 (TEL) 03(6380)2651
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,151	28.4	508	16.8	507	16.8	300	13.3
26年3月期第2四半期	896	-	435	-	434	-	265	-

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 302百万円(13.6%) 26年3月期第2四半期 266百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	5.82	5.59
26年3月期第2四半期	5.30	-

(注) 1. 当社グループは、第2四半期の業績開示を平成27年3月期から行っているため、平成26年3月期第2四半期の対前年同期増減率の記載はしていません。

2. 平成26年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在しますが、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載していません。

3. 当社は、平成25年9月4日付で普通株式1株につき35,000株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	7,914	2,356	29.8
26年3月期	2,534	2,053	81.0

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 2,356百万円 26年3月期 2,053百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
27年3月期	-	0.00	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,718	41.0	1,199	32.2	1,119	33.9	631	17.7	12.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年3月期2Q	51,691,200株	26年3月期	51,691,200株
27年3月期2Q	一株	26年3月期	一株
27年3月期2Q	51,691,200株	26年3月期2Q	50,050,000株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 当社は平成25年9月4日付で普通株式1株につき35,000株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビューは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定要素により、実際の実績と異なる場合がありますのでご了承ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、国際情勢の緊迫化やグローバル経済の減速懸念等による影響を受けたものの、政府の経済・金融政策を背景に、為替や株価水準はおおむね安定して推移いたしました。また、個人消費動向については消費税増税の影響は引き続き見られたものの、雇用の増加や生産高の拡大など企業活動は引き続き活発に推移し、景況感全般としては緩やかな回復が継続いたしました。

当社グループが属するインターネット分野におきましては、スマートフォン契約者数の増加やタブレット端末の普及により、インターネット利用シーンの多様化並びに利用頻度の増加が見られ、市場規模もそれに伴い拡大しております。

このような事業環境のもと、当社グループは、引き続き、既存事業の展開領域及び展開地域の拡張と新規事業の創出並びにビジネスモデルの多様化に努めて参りました。

既存事業においては、9月には当社が運営する賃貸メディアである賃貸SMOCCA!の物件掲載件数が400万件を達成する等、主力事業領域における複数の大手顧客との提携や新規顧客の開拓によりデータベースの拡充に努めて参りました。技術面では、ウェブサイトの改修を継続するとともに、新たな広告手法・戦略の試験的に導入するなど、変化する市場動向に適合すべくサービスの最適化を図っております。また、提供するコンテンツとユーザーニーズのマッチング精度の改善、ユーザー行動の分析によるサイト機能の改善等、ユーザービリティの向上に取り組んで参りました。

7月には株式会社ブレイン・ラボの全株式を取得し、ビジネスクライアント向けサービスを強化するとともに、既存サービスとのシナジー効果を発揮すべく協業を開始いたしております。また、9月には株式会社リジョブの全株式を取得し、美容ヘルスケア領域へと進出をいたしております。株式会社リジョブの持つ営業ノウハウや顧客網を活用し、収益の最大化に努めて参ります。

新規事業領域における進捗として、ベトナムの戦略子会社ZIGExN VeNtura Co., Ltd.を主軸として、グローバルを対象とするサービスのフィジビリティスタディをさらに拡大させて参りました。加えて、8月にはじげんスタンプをリリースし、当社他サービスで獲得したユーザーのリテンション施策として活用するとともに、今後市場拡大が見込まれるO2O領域へと進出する等、事業モデルの拡大も継続して進めて参りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,151,172千円(前年同期比28.4%増)、売上総利益は1,084,235千円(前年同期比29.6%増)、営業利益は508,289千円(前年同期比16.8%増)、経常利益は507,319千円(前年同期比16.8%増)、四半期純利益は300,854千円(前年同期比13.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は7,914,560千円(前連結会計年度末比5,380,275千円増)となりました。

なお、流動資産は4,780,880千円(前連結会計年度末比2,436,284千円増)となりました。これは主に、現金及び預金が2,300,009千円増加、売掛金が134,582千円増加、繰延税金資産が8,545千円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は3,133,680千円(前連結会計年度末比2,943,991千円増)となりました。これは主に、のれんが2,825,415千円増加、敷金が18,097千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債総額は5,558,455千円(前連結会計年度末比5,077,898千円増)となりました。これは主に、短期借入金が2,586,000千円増加、長期借入金が2,242,200千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、2,356,105千円(前連結会計年度末比302,377千円増)となりました。これは主に利益剰余金が300,854千円増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の期末残高は4,203,842千円

となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、264,065千円となりました。主な資金増加要因としては、売上高の伸張による税金等調整前四半期純利益の計上507,319千円によるものです。これに対して主な資金減少要因としては法人税等の支払額274,633千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、2,742,945千円となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出2,692,225千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、4,777,610千円となりました。これは借入に伴うものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成26年5月14日に公表しました内容に変更はございません。なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成26年7月17日に株式会社ブレイン・ラボの発行済株式の100%を取得し、連結子会社化を実施しております。
平成26年9月26日に株式会社リジョブの発行済株式の100%を取得し、連結子会社化を実施しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,903,832	4,203,842
売掛金	332,006	466,588
その他	108,982	116,466
貸倒引当金	△224	△6,017
流動資産合計	2,344,596	4,780,880
固定資産		
有形固定資産	83,622	96,228
無形固定資産		
のれん	-	2,825,415
その他	23,993	96,212
無形固定資産合計	23,993	2,921,628
投資その他の資産	82,072	115,823
固定資産合計	189,688	3,133,680
資産合計	2,534,285	7,914,560
負債の部		
流動負債		
短期借入金	-	2,586,000
未払法人税等	274,224	306,251
賞与引当金	-	5,753
その他	188,628	853,807
流動負債合計	462,852	3,751,813
固定負債		
長期借入金	-	1,785,528
資産除去債務	17,704	20,266
その他	0	848
固定負債合計	17,704	1,806,642
負債合計	480,557	5,558,455
純資産の部		
株主資本		
資本金	531,366	531,366
資本剰余金	531,366	531,366
利益剰余金	989,719	1,290,574
株主資本合計	2,052,451	2,353,306
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,276	2,798
その他の包括利益累計額合計	1,276	2,798
純資産合計	2,053,727	2,356,105
負債純資産合計	2,534,285	7,914,560

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	896,464	1,151,172
売上原価	60,156	66,937
売上総利益	836,307	1,084,235
販売費及び一般管理費	401,158	575,945
営業利益	435,149	508,289
営業外収益		
受取利息	194	177
為替差益	196	-
その他	630	169
営業外収益合計	1,021	346
営業外費用		
支払利息	-	129
為替差損	-	1,041
上場関連費用	2,004	-
その他	-	146
営業外費用合計	2,004	1,317
経常利益	434,166	507,319
税金等調整前四半期純利益	434,166	507,319
法人税、住民税及び事業税	163,824	205,482
法人税等調整額	4,876	982
法人税等合計	168,701	206,464
少数株主損益調整前四半期純利益	265,465	300,854
四半期純利益	265,465	300,854

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	265,465	300,854
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	757	1,522
その他の包括利益合計	757	1,522
四半期包括利益	266,222	302,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	266,222	302,376
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	434,166	507,319
減価償却費	5,127	9,653
のれん償却額	-	12,247
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14	△95
受取利息及び受取配当金	△194	△177
支払利息	-	129
売上債権の増減額(△は増加)	25,218	96,129
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△31,698	12,367
長期前払費用の増減額(△は増加)	△4,735	△2,937
未払金の増減額(△は減少)	△26,846	△95,275
賞与引当金の増減額(△は減少)	-	△2,600
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△23,094	1,761
その他の固定負債の増減額(△は減少)	-	128
小計	377,928	538,650
利息及び配当金の受取額	194	177
利息の支払額	-	△129
法人税等の支払額	△205,574	△274,633
営業活動によるキャッシュ・フロー	172,548	264,065
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,251	△4,187
有形固定資産の売却による収入	△7,439	△41,822
事業譲受による支出	-	△10,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△2,692,225
その他	2,838	5,290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,853	△2,742,945
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	2,584,500
長期借入れによる収入	-	2,193,110
財務活動によるキャッシュ・フロー	-	4,777,610
現金及び現金同等物に係る換算差額	839	1,279
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	166,534	2,300,009
現金及び現金同等物の期首残高	584,099	1,903,832
現金及び現金同等物の四半期末残高	750,634	4,203,842

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

当社グループは、ライフメディアプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ライフメディア プラットフォーム 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	1,151,172	1,151,172	—	1,151,172	—	1,151,172
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	34,000	34,000	△34,000	—
計	1,151,172	1,151,172	34,000	1,185,172	△34,000	1,151,172
セグメント利益	496,297	496,297	11,992	508,289	—	508,289

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、証券事業等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と同額となっております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当社は、株式の取得により株式会社ブレイン・ラボ及び株式会社リジョブを新たに連結子会社としました。その結果、ライフメディアプラットフォーム事業における資産の金額が、3,606,862千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ライフメディアプラットフォーム事業」セグメントにおいて、株式会社ブレイン・ラボ及び株式会社リジョブの全株式を取得したことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。なお、当該事象により発生したのれんの増加額は第2四半期連結累計期間において2,829,907千円であります。